

令和7年度 矢田南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

〈国語〉「話すこと・聞くこと」(全国53.2%、本校54.8%)、「読むこと」(全国62.3%、本校61.9%)の領域においては全国と比較して上回っていたり、下回っていたとしてもわずかな差であったが、「書くこと」(全国52.8%、本校41.0%)の領域においては大きな隔たりがあった。

〈数学〉「関数」(全国48.2%、本校44.4%)、「データの活用」(全国58.6%、本校52.4%)の領域においては全国と比較してわずかに下回る結果であったが、「数と式」(全国43.5%、本校37.1%)、「図形」(全国46.5%、本校35.7%)の領域においては大きな隔たりがあった。

〈理科〉「エネルギー」(全国94.6%、本校100%)、「地球」(全国31.8%、本校42.1%)の領域においては全国と比較して上回っていた結果であったが、「粒子」(全国44.9%、本校21.1%)の領域においては大きな隔たりがあった。

【今後に向けて】

〈国語〉「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の領域に関しては、様々なテーマで文章を書き、考えをまとめる経験を積み重ねることで、思考力・判断力・具現力等の力を高めたい。

〈数学〉「関数」、「データの活用」の領域に関しては今まで通り演習を重点的に行い、基礎力の定着と応用力の習得を目指したい。また「数と式」の領域は、日常の学習では出来ていることが多いので、さらに定着するように取り組みたい。「図形」の領域は生徒の習熟度に応じた教材を使って習得させたい。

〈理科〉「地球」の領域に関しては、身近な事象を選択できる生徒が少なかったので、「地球」の領域に限らず、学習内容と身近な例を結びつけるようにする。「粒子」の領域に関しては、元素記号の復習を行う。